

仁田峠：壮観な景色と登山口

雲仙温泉町の東に位置する林道を車で少し走ったところに、仁田峠があります。仁田峠は火山が連なる雲仙岳への入り口で、四方八方に壮観な景色が広がります。山の展望台からは有明海が南に広がり、はるか向こうには天草諸島が見えます。阿蘇山と熊本市街地はここから遠く東に、長崎市は西に位置しています。北西に高くそびえるのは地球で最も新しい山の一つ、平成新山です。この標高 1,483m の巨大な溶岩ドームは、1990 年 11 月 17 日に始まった普賢岳の噴火によって形成されました。1991 年 6 月には火山からの火砕流により 43 名の死者を出し、その流れ道に脅かされた数千人が避難しました。仁田峠（標高 1,040m）からロープウェイに乗ると、最寄りの山峰、妙見岳（標高 1,333m）まで短い乗車の間絶景をお楽しみいただけます。登山口はロープウェイ乗り場の両方にあります。

当エリアの自然の神秘を満喫するのに、山に登る必要はありません。5 月上旬から下旬にかけては、色合いや大きさの異なる多種多様なツツジが山面のあちこちをピンクに染め上げます。そしてこの仁田峠エリアだけでも、約 10 万ものツツジ群生地があるとされています。初夏にはヤマボウシが山を白く染め、秋には自然林が色鮮やかに紅葉します。また、ロープウェイの山頂側の駅から出ている階段を上ると展望台があり、谷の向こうに岩だらけの普賢岳山頂に登る登山者の姿が見えます。ロープウェイの山麓側の駅から 25 分間、歩きやすい道をたどると野鳥観察エリアがあり、シジュウカラやキビタキ、オオルリ、ウグイスを始めとする地域の在来種や渡り鳥が頻繁に見られます。

運が良ければ、冬には濃霧に冷たい風が接触するときに起こる稀少な現象、霧氷（別名「フロストフラワー」）を目にすることができるかもしれません。この現象では木枝の片側に薄い氷殻が形成され、それが太陽の光を浴びると山が宝石でちりばめられたかのような神秘的な煌めきを見せます。

飲み物やおやつ、お土産品は、駐車場とロープウェイ駅の 2 つの便利なロケーションで買うことができます。普賢岳への山登りは往復で 3～4 時間かかり、飲み物とおやつは必須です。